

## 【能力に関する改良目標】

## 現 状

## ○ 卵用鶏

(生産能力等)

- 卵用鶏は改良目標を達成。
- (その他)
- 卵用鶏の9割以上の種鶏が海外の育種会社で改良。

## ○ 肉用鶏

(生産能力等)

- 肉用鶏は育成率以外で改良目標を達成。
- 増体量の改良が早く、ブロイラー出荷時の到達日齢が平均で49日齢より早い傾向。
- (その他)
- 肉用鶏（ブロイラー）は9割以上の種鶏が海外の育種会社で改良。
- 地鶏等には多様な鶏種があるが、定量的な改良目標は未設定。

## 課 題

## ○ 卵用鶏

(生産能力等)

- 生産費を抑えるための産卵率、飼料要求率等の基本的能力の改良を継続。
- (その他)
- 生食に対応した卵の新鮮度等に関するデータ収集方法を検討し、データが蓄積されたら指標化を検討。

## ○ 肉用鶏

(生産能力等)

- 育成率と飼料要求率の改良を継続。
- 出荷日齢を早める観点から、日増体量の指標を設定することの是非を検討。
- (その他)
- 地鶏等に関する定量的な改良目標設定の可否について検討。

## 【能力向上に資する取組】

### 現 状

#### ○ 卵用鶏及び肉用鶏

(改良手法：国産鶏の系統造成)

- ・ 民間育種業者は自ら系統造成からコマーシャル鶏生産まで取り組む。
- ・ 家畜改良センターは、国産鶏の系統造成において種鶏を民間や都道府県に供給し、組合せ検定に協力。

(飼養管理)

- ・ 飼料用米の生産振興や給与技術マニュアルの普及。
- (安定供給)
- ・ 卵用鶏、肉用鶏(ブロイラー)とともに、9割以上の種鶏が海外の育種会社で改良。

#### ○ 肉用鶏（特に地鶏等）

(改良手法：在来種の利用)

- ・ 都道府県は自ら保有する在来鶏に対し、産肉性を向上させるため、センター産種鶏を交配して地鶏銘柄鶏を作出。
- ・ 家畜改良センターは、都道府県で維持困難な在来鶏を保存。また、繁殖性改善のため、在来種等を利用した組合せ検定を実施しその結果を情報提供。

(食味)

- ・ おいしさ（風味の強さ）と成分との関係についての調査を実施。

### 課 題

#### ○ 卵用鶏及び肉用鶏

(改良手法：国産鶏の系統造成)

- ・ 国産鶏の新系統の造成。
- ・ 遺伝子解析に基づく選抜手法の検討。
- ・ 始原生殖細胞（PGCs）を利用した新たな育種手法の普及の検討。

(飼養管理)

- ・ 飼料用米給与に伴う卵黄や肉の色が薄くなることを活かした消費拡大を推進。

(安定供給)

- ・ 鳥インフルエンザ等伝染性疾病発生リスク低減の取組と、発生を想定した育種資源の維持及び安定供給に係る体制構築の検討。

#### ○ 肉用鶏（特に地鶏等）

(改良手法：在来種の利用)

- ・ 近交係数上昇を抑制する取組の検討。

(食味)

- ・ おいしさ（風味の強さ）と成分との関係に関する情報の消費者への訴求。